

個別の知識や技能 (何を知っているか、何ができるか)

- 言葉の働き、役割に関する理解
- 言葉の特徴やきまりに関する理解と使い分け
 - ・言葉の位相、書き言葉(文字)、話し言葉、敬語、方言
 - ・語、語句、語彙
 - ・文の成分、文の構成
 - ・文章の構造(文と文の関係、段落、段落と文章の関係)
 - ・表現の工夫(修辞など)
- 言葉の使い方に関する理解と使い分け
 - ・話し方や話し方・発表、聞き方
 - ・書き方
 - ・読み方や音読・朗読
- 書写に関する知識・技能
- 伝統的な言語文化に関する理解
- 文章の種類に関する理解
- 情報活用に関する知識・技能

など

思考力・判断力・表現力等

教科等の本質に根ざした見方や考え方等
(知っていること・できることをどう使うか)

- ◆テキスト・情報を理解する力、文章や発話により表現する力【創造的思考(とそれを支える論理的思考)の側面】
 - 情報を多角的に精査し、構造化する力
 - ・論理の吟味・構築(根拠、論拠、定義、前提等)
 - ・信頼性、妥当性の吟味
 - ・推論に基づく情報の精査・取捨選択
 - ・既有知識による内容の補足、精緻化
 - 構成・表現形式を評価する力
- 【感性・情緒の側面】
 - 言葉によって感じたり想像したりする力、感情や想像を言葉にする力
 - 構成・表現形式を評価する力
- 【他者とのコミュニケーションの側面】
 - 言葉を通じて伝え合う力
 - ・相手との関係や目的、場面、文脈、状況等の理解
 - ・相手の心の想像、意図や感情の読み取り
 - ・自分の考えや思いの伝達
 - 構成・表現形式を評価する力
- ◆考えを形成、深化する力(個人または集団として)
 - 情報を編集・操作する力
 - 新しい情報を、既に持っている知識や経験・感情に統合し構造化する力
 - 新しい問いを立てるなど、既に持っている考えの構造を転換する力

学びに向かう力、人間性等

情意、態度等に関わるもの
(どのように社会・世界と関わり
よりよい人生を送るか)

- ・言葉のもつ曖昧性や、表現による受け取り方の違いを認識した上で、言葉がもつ力を信頼し、言葉によって困難を克服し、言葉を通して社会や文化を創造しようとする態度
- ・言葉を通じて、自分のものの見方、考え方を深めようとするとともに、考えを伝え合うことで、集団の考えを発展させようとする態度
- ・様々な事象に触れたり体験したりして感じたことを言葉にするとともに、それらの言葉を互いに交流させることを通じて、心を豊かにしようとする態度(自分の感情をコントロールしようとする態度)
- ・言葉を通じて積極的に人や社会と関わり、自己を表現し、他者の心と共感するなど互いの存在についての理解を深め、尊重しようとする態度
- ・我が国の言語文化に関心をもち、言語文化を享受し、生活や社会の中で活用し、継承・発展させようとする態度
- ・自ら進んで読書をし、本の世界を想像したり味わったりするとともに、読書を通して、知らないことを知ったり、経験のないことを体験したり、新しい考えに触れたりするなどして人生を豊かにしようとする態度